

## 第2回中野区交通政策推進協議会 開催概要

日 時 令和3年(2021年)7月29日(木)

開催方法 書面開催

議 事 (1)中野区交通政策基本方針について  
(2)第3回中野区交通政策推進協議会までの進め方について

### 【主な意見】

#### (1)中野区交通政策基本方針について

- 新たな交通結節点について、「交通機能の他、滞留機能、交流機能、誘導機能・・・」としているが、交通機能には「トラフィック」「アクセス」「滞留」があり、近年は交通機能に滞留が含まれる。そのため、「交通機能の他、空間機能として滞留機能・・・」と空間機能を加えたほうが良いと思う。
- ウォークブル推進都市について、「歩行者の安全な通行を第一優先・・・」としているが、ウォークブルの趣旨を踏まえ滞留もあっても良いと思う。「歩行者の安全な通行と滞留を第一優先・・・」はいかがか。
- 新型コロナウイルスに前後の行動変容が記載されているが、これを踏まえ、交通政策としてどう取り組むのか考える必要があるかと思う。具体には、減った交通利用者に対して、新たなニーズを生み出すことかと思う。例えば、自宅でのテレワーク者に対して、ランチやディナーは駅周辺まで公共交通で行き食べるなどの新たな公共交通利用ニーズを生み出すことも考えられる。
- 交通を取り巻く状況等にて、社会情勢の変化への対応に「公共交通の維持など」とあるが、変化する情勢のなかで旧態を維持することではなく、公共交通が持続的に機能していくことが課題と思われるため、「持続的な公共交通の提供」など、表現の見直しができないか。
- 公共交通ネットワークの充実について、少ない定員の輸送を低運賃で実施すると必然的に持続性に大きな課題が残る。要望と需要の違いを調整しつつ、多くの人に求められ持続できる交通体系を議論できればと考える。
- 区内の交通に関して福祉的配慮が必要な対象者の特徴を整理し、ターゲットを明確にした上で、「タクシー等既存の公共交通機関活用の強化を図る方法も検討する」、といった視点の記述があると良い。

(2)第3回中野区交通政策推進協議会までの進め方について

○意見は特になし。

以上